



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月1日

上場会社名 イビデン株式会社

コード番号 4062 URL <http://www.ibiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹中 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 佐野 尚

TEL 0584-81-3111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	214,737	△3.4	9,695	△62.5	6,884	△71.3	1,758	△85.8
23年3月期第3四半期	222,288	12.3	25,887	84.0	23,957	94.1	12,419	39.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △7,499百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 2,320百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	12.29	12.17
23年3月期第3四半期	86.17	85.18

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	409,191	257,884	61.8
23年3月期	397,580	271,249	67.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 252,945百万円 23年3月期 266,309百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
24年3月期	—	15.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 現時点では期末における配当予想額は未定であります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	296,000	△2.9	13,000	△61.6	8,300	△75.3	3,300	△83.3	23.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	150,860,557 株	23年3月期	150,860,557 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	7,769,599 株	23年3月期	7,768,937 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	143,091,239 株	23年3月期3Q	144,134,959 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による影響は残りますものの、設備投資は緩やかな回復基調をたどり、個人消費も底堅く推移しました。一方、欧州の債務危機による世界経済の減速や円高水準の定着により、企業をとりまく経営環境は引き続き厳しい状況にあります。

半導体・電子部品業界におきましては、スマートフォンやタブレット型携帯端末の市場が世界的に急成長しておりますものの、これら製品の台頭によりパソコン市場の成長は大きく鈍化しています。さらに、タイの洪水による部品不足の影響も重なり、市場環境は一層厳しさを増すことが予想されます。

自動車排気系部品業界におきましては、北米市場が回復基調に転じ、加えて新興国市場が底堅く推移しており、総じて需要は回復傾向にあります。

このような情勢のもと、当社グループでは、連結中期経営計画の基本方針を基に、全社全部門において事業の構造改革に取り組んでまいりました。具体的には、当社の強みが活かせる高付加価値製品にビジネスの舵を切るとともに、グローバルな最適地生産体制の構築を進めるなど、企業体質の強化に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期の売上高は、2,147億37百万円と前年同期に比べ75億51百万円(3.4%)減少いたしました。営業利益は96億95百万円と前年同期に比べ161億91百万円(62.5%)減少し、経常利益は68億84百万円と前年同期に比べ170億73百万円(71.3%)減少し、四半期純利益は17億58百万円と前年同期に比べ106億61百万円(85.8%)減少いたしました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

#### 電子事業

プリント配線板は、スマートフォン向け製品の受注量は増加しましたものの、販売価格の下落から、売上は前年並みとなりました。

小型・薄型パッケージは、スマートフォンやタブレット型携帯端末向け製品の受注量の増加と生産能力の拡充により、売上は大幅増となりました。

高機能・多層パッケージは、世界のパソコン市場全体の停滞に加え、企業間競争の激化に伴う販売価格の下落から売上減となりました。

以上により、電子事業の売上高は、1,227億22百万円となり、前年同期に比べ11.3%減少しました。また、同事業の営業利益は28億56百万円となり、前年同期と比べ86.0%減少しました。

#### セラミック事業

ディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)は、欧州の自動車市場においてディーゼル車の販売が底堅く推移していることやDPF搭載比率の上昇により売上増となりました。

触媒担体保持・シール材は、震災やタイの洪水の影響により国内企業向けの需要は減少しましたものの、排ガス規制強化に伴い需要が拡大している欧州企業向けや新興国向けの受注が堅調に推移し、売上増となりました。

特殊炭素製品では、直近の太陽電池市場は調整色が強まっておりますものの、発電パネル向けシリコン製造装置用部材の受注量は底堅く推移し、売上増となりました。

以上により、セラミック事業の売上高は556億74百万円となり、前年同期に比べ13.1%増加しました。また、同事業の営業利益は50億43万円となり、前年同期と比べ18.0%増加しました。

#### 建材事業

メラミン化粧板は、店舗内装向けが伸び悩んだものの、住宅着工戸数の回復によりマンション向けキッチン扉及び収納扉の販売が伸び、売上増となりました。住宅設備機器は、住宅市場の持ち直しに伴い既存販路の需要が回復基調となり売上増となりました。

以上により、建材事業の売上高は149億25百万円となり、前年同期に比べ6.2%増加しました。また、同事業の営業損失は4億79百万円（前年同期は、7億25百万円の営業損失）となりました。

#### 建設事業

法面工事部門は、受注量は確保したものの、震災による公共工事の発注遅れの影響を受け、微減となりました。造園工事部門は、民間の大型工事が進捗したことにより売上増となりました。

以上により、建設事業の売上高は64億68百万円となり、前年同期に比べ1.6%増加しました。また、同事業の営業利益は7億31百万円となり、16.6%増加しました。

#### その他事業

合成樹脂加工部門は、自動車生産の回復を受けて発泡樹脂製品の受注が復調傾向にあることから売上は微増となりました。農畜水産物加工部門は、既存製品の用途開発が功を奏し売上増となりました。情報関連サービス部門は、医療向けソフトウェアの受注が増加し売上増となりました。

以上により、その他事業の売上高は、149億46百万円となり前年同期に比べ5.0%増加しました。また、同事業の営業利益は7億80百万円となり、5.0%増加しました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ116億11百万円増加しました。主な増減としては、現金及び預金が124億59百万円、たな卸資産が67億72百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が71億22百万円、有価証券が31億27百万円それぞれ減少しております。

負債では社債が400億円増加し、支払手形及び買掛金が13億34百万円、未払法人税等が87億80百万円それぞれ減少しております。また純資産は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少や、為替換算調整勘定の減少などにより、133億64百万円減少しました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、平成23年10月27日に公表いたしました業績予想に修正はありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	66,982	79,441
受取手形及び売掛金	56,348	49,225
有価証券	27,317	24,190
商品及び製品	11,726	13,939
仕掛品	8,297	10,577
原材料及び貯蔵品	9,786	12,064
繰延税金資産	3,394	3,408
その他	4,650	9,108
貸倒引当金	△427	△429
流動資産合計	188,075	201,527
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	66,577	62,597
機械装置及び運搬具（純額）	51,173	56,964
土地	17,813	17,779
リース資産（純額）	2,703	2,343
建設仮勘定	31,832	30,932
その他（純額）	4,016	3,827
有形固定資産合計	174,116	174,444
無形固定資産	4,398	4,854
投資その他の資産		
投資有価証券	25,012	21,415
長期貸付金	43	44
繰延税金資産	4,320	4,963
その他	2,057	2,337
貸倒引当金	△443	△395
投資その他の資産合計	30,990	28,365
固定資産合計	209,505	207,663
資産合計	397,580	409,191

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,570	46,235
短期借入金	18,385	18,748
未払金	19,043	17,709
未払法人税等	9,302	521
繰延税金負債	17	22
賞与引当金	3,835	1,636
役員賞与引当金	257	—
設備関係支払手形	6,724	4,457
その他	8,846	10,047
流動負債合計	113,982	99,378
固定負債		
社債	—	40,000
長期借入金	5,078	5,023
リース債務	1,384	1,115
再評価に係る繰延税金負債	179	157
退職給付引当金	766	490
役員退職慰労引当金	711	640
繰延税金負債	2,803	2,968
負ののれん	3	0
その他	1,421	1,533
固定負債合計	12,348	51,928
負債合計	126,331	151,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	68,331	68,331
利益剰余金	179,076	175,118
自己株式	△30,640	△30,641
株主資本合計	280,920	276,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,076	239
繰延ヘッジ損益	△20	—
土地再評価差額金	48	71
為替換算調整勘定	△16,715	△24,326
その他の包括利益累計額合計	△14,611	△24,015
新株予約権	1,376	1,245
少数株主持分	3,563	3,693
純資産合計	271,249	257,884
負債純資産合計	397,580	409,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	222,288	214,737
売上原価	161,091	167,571
売上総利益	61,197	47,166
販売費及び一般管理費	35,310	37,470
営業利益	25,887	9,695
営業外収益		
受取利息	129	238
受取配当金	469	509
負ののれん償却額	63	2
持分法による投資利益	61	—
その他	488	525
営業外収益合計	1,212	1,276
営業外費用		
支払利息	206	222
設備賃貸費用	11	14
持分法による投資損失	—	83
為替差損	1,401	3,103
休止固定資産減価償却費	811	—
その他	710	663
営業外費用合計	3,141	4,087
経常利益	23,957	6,884
特別利益		
固定資産売却益	5	69
補助金収入	113	36
貸倒引当金戻入額	124	—
新株予約権戻入益	338	379
前期損益修正益	0	—
その他	24	0
特別利益合計	605	485
特別損失		
固定資産除却損	592	315
減損損失	488	163
投資有価証券評価損	611	433
前期損益修正損	9	—
その他	92	40
特別損失合計	1,793	952
税金等調整前四半期純利益	22,770	6,417
法人税等	10,159	4,503
少数株主損益調整前四半期純利益	12,610	1,914
少数株主利益	191	155
四半期純利益	12,419	1,758

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,610	1,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△956	△1,845
繰延ヘッジ損益	△1	20
土地再評価差額金	—	22
為替換算調整勘定	△9,332	△7,610
その他の包括利益合計	△10,290	△9,413
四半期包括利益	2,320	△7,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,138	△7,646
少数株主に係る四半期包括利益	181	147

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

[セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年12月31日）

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラミック	建材	建設	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	138,403	49,229	14,056	6,366	208,055	14,233	222,288
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	35	31	3	8,215	8,285	3,943	12,229
計	138,439	49,260	14,059	14,581	216,340	18,177	234,517
セグメント利益又は損失(△)	20,389	4,272	△725	627	24,564	743	25,308

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額  
の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	24,564
「その他」の区分の利益	743
セグメント間取引消去	△86
全社費用及び利益(注)	664
四半期連結損益計算書の営業利益	25,887

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や電力利益であります。

## ③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラミック	建材	建設	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	122,722	55,674	14,925	6,468	199,791	14,946	214,737
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	30	25	21	10,317	10,394	5,001	15,396
計	122,753	55,700	14,946	16,785	210,186	19,948	230,134
セグメント利益又は損失(△)	2,856	5,043	△479	731	8,153	780	8,934

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,153
「その他」の区分の利益	780
セグメント間取引消去	△4
全社費用及び利益(注)	766
四半期連結損益計算書の営業利益	9,695

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や電力利益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

全社資産である遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間においては163百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

特記すべき事項はありません。